

コンテスト・奨励・奨学生制度・国際交流プログラム

充実のサポートシステムで可能性を広げよう

受験生特集

5~9面

専修大学には「社会知性の開発」を実践的にサポートするシステムがそろっている。さまざまな支援、機会を活用して自分の可能性を広げよう

懸賞論文・文芸作品コンクール

文芸・鳳賞に宮川知子さん



文芸部門の鳳賞を獲得、表彰される宮川さん

学生部の「2010年度懸賞論文・文芸作品コンクール」の入賞者が決まり12月6日、生田キャンパスで表彰式が行われた。文芸部門で鳳賞に輝いた宮川知子さん(文4)の受賞作品は「水槽」。入賞者には阿藤正道学生部長から賞状と記念品が贈られた。文芸部門審査委員長の小林恭二文学部教授は、宮川さん

の作品について「審査員全員が最高点を付けた。群を抜くことができ、学生作品では最高級の作品と言ってもらった。高評価だった。本格的に小説を書き始めたのは本学に入学してからと言った。喜びもひとしおです。就職しても小説は書き続けたい」と、喜びを語った。

懸賞論文

【優秀賞】賞金5万円

▽パク・ビョンウク

(商4)「韓国の企業

のCSR活動と証券市場の価値」▽平倉直人

(法3)「政府・与党

の一元化について」▽

福田洋佑(文4)「社

会的見地からみた吃

音者・吃音者と生音者

の相互行為と「声の規

則」に着目して」

▽楠山亮人(経済

学)「花火であとすこし」

▽志賀安希布(経済

学)「友達」▽矢野友

美子(文4)「ふかい

さん」▽野田了成(文

学)「臆病なウサギ、

槽」

【優秀賞】賞金5万円

▽有賀拓郎(文4)「さ

上裕代(文1)「今を

追いかけて」▽佐藤美

香(二部法1)「七日

間組曲」

【佳作】賞金2万円

▽大野佑太(文3)「It

Insurance syst

em, and Narrow Ba

king system」For

the cause of

stabilization of

Banking」▽篠亮

太商(文4)「国際分散投

資の有用性」▽後藤季

恵(文3)「日本のフア

クニ」

「後期」海外研修・国際交流奨励生決まる

学生部では、海外での活動、スポーツ交流など調査旅行、ボランティア個人・団体での国際交流を目的とした国際奨励生を年2回募集している。2010年度「後期」海外研修・国際交流奨励生に2人と1組が決まった。



▲左から渡辺さん、竹田さん、狩野さん。写真下は藤盛さん



2010年度「後期」海外研修・国際交流奨励生に2人と1組が決まった。渡辺奈緒美さん(経済学)と、藤盛麻耶さん(法3)の2人が、それぞれ1組を組んで海外研修に参加する。渡辺さんは、2月15~28日、フロリダ州に滞在し、難病児短期施設「Give Kids The World」でのボランティア活動に参加する。藤盛さんは、2月11~17日、コロラド州における銃規制および教育環境に関する意識調査を行う。



自己啓発奨励生に遠藤志穂美さん 学生部では、多くの応募を期待している。ぜひ、あなたもチャレンジしてみよう。

奨励生の氏名、渡辺奈緒美さん(経済学)、狩野歩夢さん(経済学)、藤野夢さん(経済学)、渡辺奈緒美さん(経済学)、渡辺奈緒美さん(経済学)。



自己啓発奨励生に遠藤志穂美さん 学生部では、多くの応募を期待している。ぜひ、あなたもチャレンジしてみよう。

国と国を越える交流

チベット族の小学校へ



▲左端が鈴木さん

副校長先生のインタビューが実現できると感じたが、迎えてくださった先生が、私の手を強く握りしめ「国と国を越える交流のためにここまで来てくれたのは、人から愛されたいという気持ちです」と話してくれ、うれしかったです。その言葉が印象に残っています。13億人の中国人をひとくくりにすることは出来ないのだから、心から感じました。チベット族の人々の思いや日本語を必死に勉強する学生たち、少数民族の文化、満天の星空、見たこともないような絶景……。今回の渡航目的は「伝えたいモノを見つけて、自分たちで企画するスタディツアーの事前視察と調査を目的にチベット族の子どもたちが通う小学校の訪問や日本語交流会への参加、専門高等学校の見学をしました。チベット族の子どもたちが通う小中甸鎮中心小学校は雲南省の省都、昆明からバスで北へ12時間のところにある、887人が通っています。

海外研修・国際交流奨励生体験記

2010年度前期海外研修・国際交流奨励生として海外にわたった2人の学生の体験記を紹介する。

折り紙メダル光った

ネパールで運動会

中村 梨乃(商3)

昨夏、海外研修・国際交流奨励制度を利用し、ネパールのカエラハニールに3週間滞在しました。現地の子どもたちとの交流がおも目的です。カエラハニールは、首都カトマンズから車で10時間北上したところ。所属している団体主催のワークキャンプ参加メンバーの一人として、日本人11人と参加しました。大会当日、実際にやり方を